事例No.	837
公表年度	R1
団体の属性	都道府県
団体名	滋賀県

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・適切な資産管理 ・公共施設活用

事例種類	長寿命化事業

事例内容・タイトル

大津信楽線舗装補修事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

長寿命化事業（社会基盤施設）

滋賀県（人口141万人）「大津信楽線舗装補修事業」

事業の概要

供用後、約40年以上が経過し、老朽化した大津信楽線における舗装の修繕工事（H30年に実施）

事業のポイント

【課題】
- 道路施設の高齢化や更新時期の集中等により、維持管理に要する費用が増加し、財政の圧迫が懸念されている。
- 舗装の劣化によるひび割れや剥離が見られ、安全な通行に支障を生じるおそれがあった。



個別施設計画に位置づけ

滋賀県　舗装修繕計画（個別施設計画）

（目的）　客観的な指標に基づく修繕を行うことで、県内の路面状態の改善を図る

（対応）　舗装状態を評価する指標として全国的に用いられているMCI※を用いて目標を設定し、優先順位付け

※MCI（Maintenance Control Index:維持管理指数）
「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」、「平たん性」の3つの要因を組み合わせ、舗装の破損の程度を総合評価した指数。

事業の効果

○　今回の工事により、10～15年長寿命化することが見込まれる。

○　交付金の対象とならないが補修の必要があるものについて、公共施設等適正管理推進事業債を活用することで県の負担が軽減され、より多くの箇所の修繕を行うことができる。